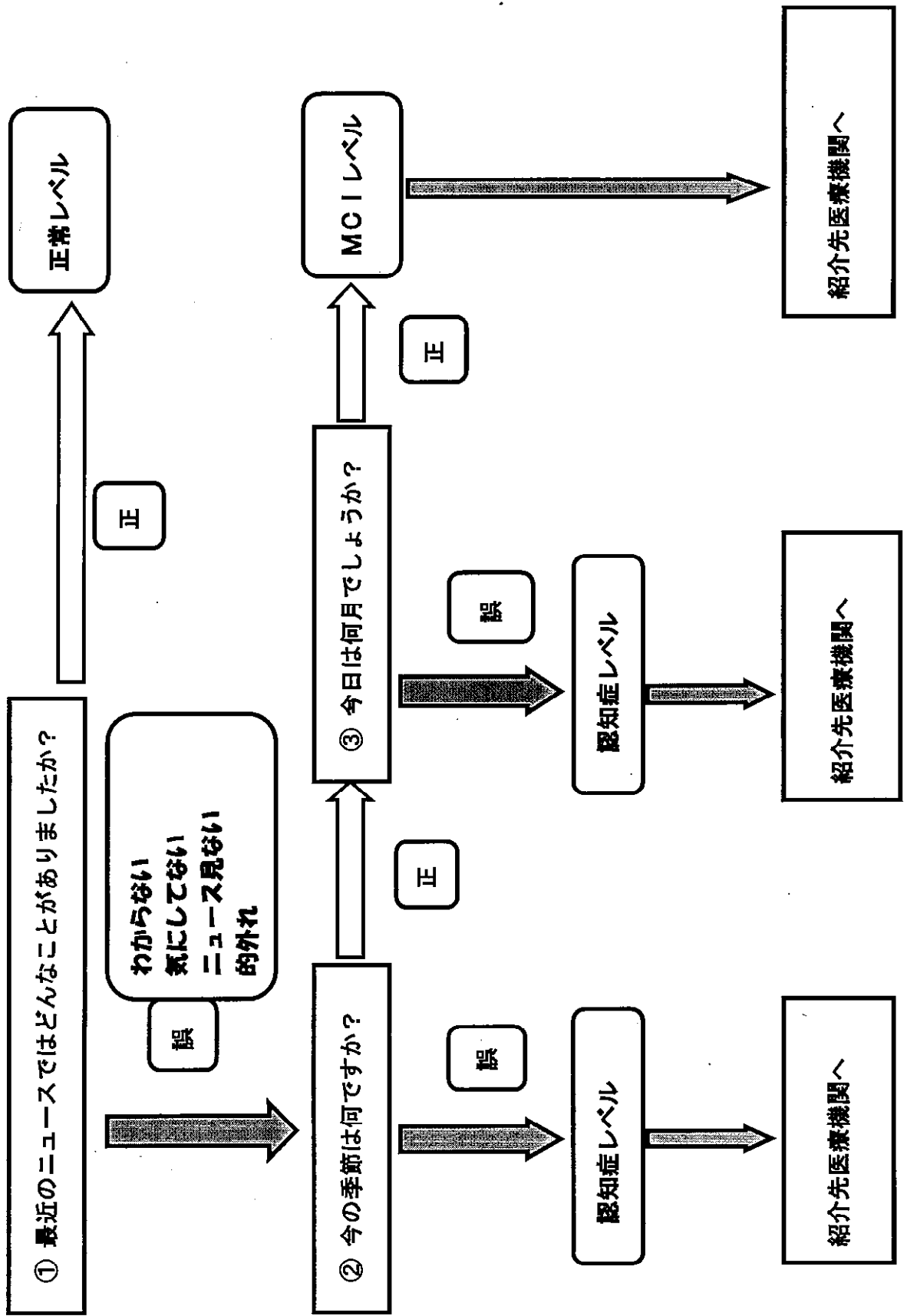


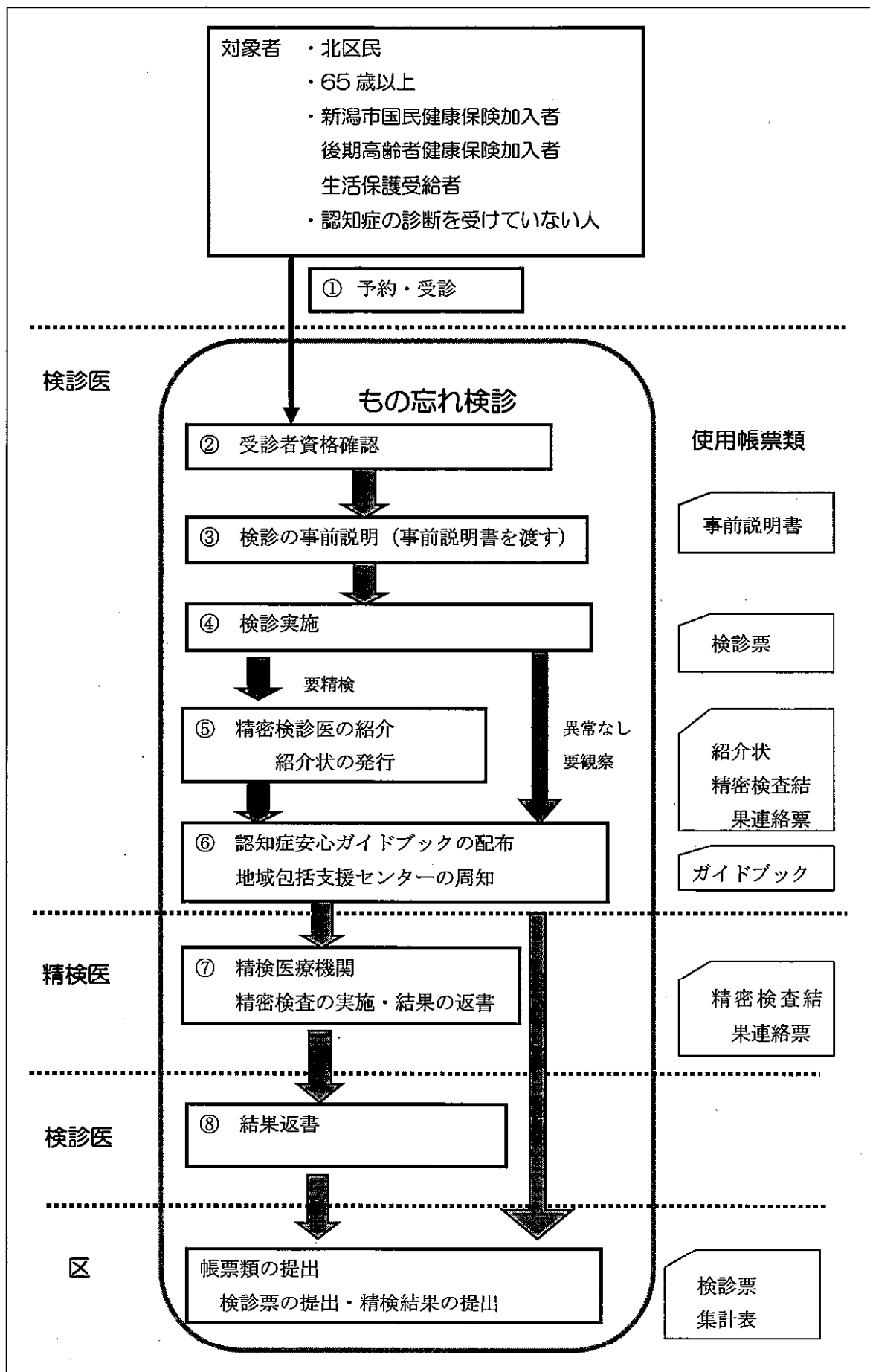
## 参考資料 1

新潟市認知症施策の課題等と  
現状・今後の方向性における関係参考資料

～ 新潟市北区 もの忘れ検診 問診フロー（案） ～



# 北区もの忘れ検診フロー（案）



北自協第 20 号  
平成28年9月15日

新潟市長 篠田 昭 様

北区自治協議会

会長 山崎 敬雄

「認知症対策」に関する提言書について

本自治協議会では、認知症対策を地域課題の一つと位置付け、課題解決に向け検討してまいりました。

その検討結果として、別紙のとおり提言書として取りまとめましたので、ここに提出します。



平成28年9月15日

新潟市長 篠田 昭 様

北区自治協議会 会長 山崎 敬雄

### 認知症対策についての提言書

北区自治協議会では、区内においても認知症の高齢者の増加が見込まれることから、北区内で実施されている認知症対策に関する事業などを検証しました。その検証の過程において、いかに効果的に行政などの情報を市民に伝えるか、また、認知症の人や介護する家族の負担を軽減する対策で不足しているものがないかを検討し、下記のとおり提言事項をまとめました。

つきましては、次の事項について特段のご配慮をお願いしたいので、提言書を提出いたします。

新潟市においては、早急に実施できるものは実施し、検討を要するものは第7期「新潟市高齢者保健福祉計画」・「介護保険事業計画」に反映するよう提言いたします。

#### 記

##### 1 認知症対策の周知について

- (1) 「市政さわやかトーク宅配便」に認知症に関わるメニューを加え、認知症ガイドブックをもとに、認知症についての理解を深めてもらう。また、自治会、コミュニティ協議会、企業などに「市政さ

わやかトーク宅配便」の活用を積極的に働きかける。

- (2) 認知症の人の見守り活動などを推進するため、認知症対策に関するDVDを希望する自治会・町内会などに配布する。
- (3) 市の認知症対策と介護体験談、キャラバンメイトやサポーター養成講座受講者の活動内容を「認知症」特集号として作成し、自治会の回覧板を活用して周知する。
- (4) 小、中学生などの若いうちに認知症の知識を得るため、今以上に研修を実施する。
- (5) 認知症サポーター養成講座開催日程を民生委員に連絡して、民生委員の協力を得ながら多くの参加者を募ること。

## 2 認知症の人及び予備軍の把握・情報提供体制について

- (1) 認知症の人を介護する家族やその予備軍の実態を把握するため、地域包括支援センターの職員体制を充実する。また、早期発見に向けて医療機関等と連携したもの忘れ検診を実施する。
- (2) 地域包括支援センターで実態調査を行い、不足している認知症に対する知識や情報を把握し、的確な情報を提供できるようにする。
- (3) 地域包括支援センターを核に、キャラバンメイト、認知症サポーター養成講座受講者、民生委員などによる認知症実態把握・情報提供体制を確立する。

## 3 相談体制の充実について

- (1) 認知症サポート医の養成を推進するとともに医師不足に対応するため、市民向けに新潟市独自で、医学的な内容より現実の介護対応の研修を実施し、修了者は「認知症相談員」として地域包括支援センターに常駐させ、相談体制を充実する。

- (2) 地域包括支援センターはその役割が分かりづらいので、新たに名称を公募する。
- (3) 若年性認知症や介護相談など、相談の中身により相談先がわかる一覧を作成し、周知する。

#### 4 介護家族への支援策について

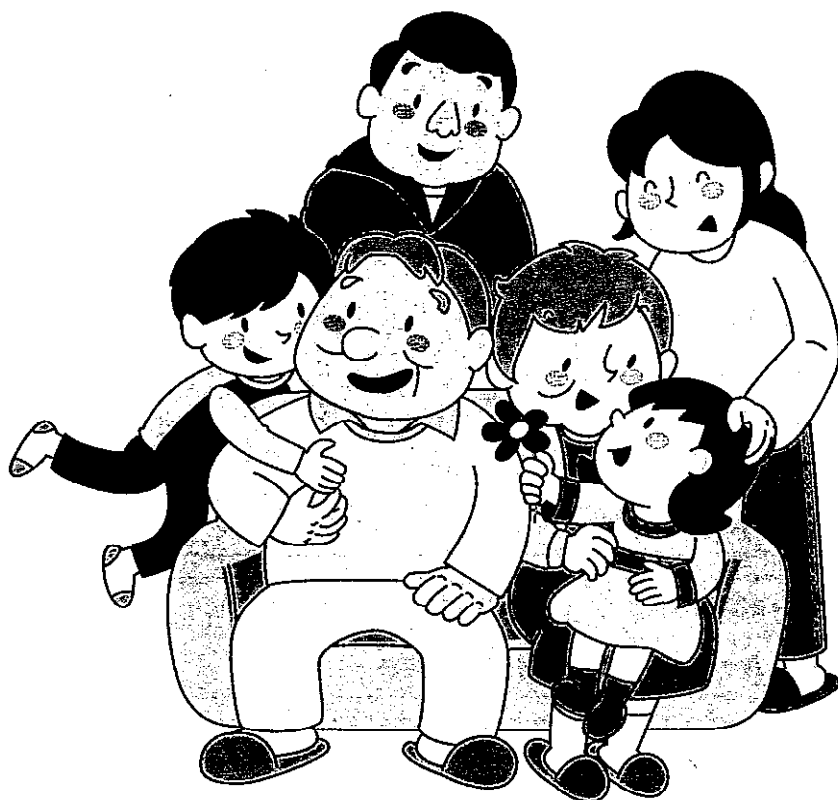
- (1) 「認知症サポーター養成講座」のほかに「介護者サポーター養成講座」を実施し、合わせて介護者を支援するボランティアを養成するとともに、傾聴ボランティアなどの既存のボランティアグループとの連携を図る。
- (2) 認知症サポーター養成講座に参加する人の動機としては、①一般的な知識を得たい、②介護当事者又は予備軍、③ボランティア活動を考えている人、などが考えられる。講座終了後、講座生のグループ化を呼びかけ、さらにレベルアップ講座を受講してもらうなど、地域での支え合い、講座会場で認知症の人をお世話するなどの活動につないで行く仕組みづくりを検討する。
- (3) 介護教室開催を機にサポーターなどの協力を得ながら、「認知症の人と家族の会」を立ち上げるための支援をする。
- (4) 認知症の人や家族、地域住民や支援者が集まり、お茶会などで介護者、要介護者がともに楽しみ、リフレッシュするための場（認知症カフェ）を各区に開設する。なお、「認知症カフェ」という名称については、再考を望む。
- (5) 介護に困っている人や家族介護教室に参加できない人のために、認知症介護の体験談や対応例などを知ることができる冊子やツールなどの作成を検討する。
- (6) 講座や講演会に参加するためにデイサービスに認知症の人を預ける方法もあるが、講座、講演会会場に認知症の人を預かる部屋の確保と世話人（認知症サポーター養成講座受講者）を配置する。

北区自治協議会 提言事項回答

[提言事項]	[所管課]
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 認知症対策の周知について</li> <li>2 認知症の人及び予備軍の把握・情報提供体制について</li> <li>3 相談体制の充実について</li> <li>4 介護家族への支援策について</li> </ol>	<p>地域包括ケア推進課</p>
<p>本市では、現在第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において、地域包括ケアシステム構築のための重点取組み事項として認知症施策の推進を位置づけており、様々な事業に取り組んでいます。</p> <p>認知症対策の周知につきましては、認知症サポーター養成講座を地域住民や企業、学校を対象に開催し、年間約6,500人養成しており、認知症の正しい理解と普及に努めています。また、小中学生については、市教育委員会が作成した「福祉読本」をもとに、認知症を含めた高齢者の理解や支援の在り方を学ぶ、総合的な学習時間を設けています。</p> <p>なお、「医療・介護のおきがる座談会」として医療や介護の専門職が講師となり、地域の集まりなどでお話をさせていただいておりますのでご活用ください。</p> <p>予防活動や相談体制については、認知症の早期発見・早期治療のため、医療と介護が一体となった地域支援体制構築の推進役となる、認知症サポート医を養成するとともに、認知症サポート医の協力のもと「かかりつけ医認知症対応力向上研修」をはじめ、専門職に対する研修を実施し体制の充実、強化を進めています。</p> <p>さらに、認知症の早期発見と適切な対応のため、医療介護の関係者が情報共有できるよう「むすびあい手帳」を作成し、周知普及を進めています。</p> <p>また、高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターでは、主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師などの専門職が連携し、地域包括支援センターが中心となり地域のネットワークを築きながら、健康・介護・福祉などさまざまな面から適切な高齢者の支援に努めています。</p> <p>介護家族への支援については、各区の「家族介護教室」のほか、「認知症の人と家族の会」や「認知症カフェ」など様々な取り組みが行われています。今年度新たに発行した「認知症安心ガイドブック」にも掲載しておりますが、引き続き情報収集を行い様々な機会や媒体を活用し周知にも努めていきます。</p> <p>高齢者人口の増大に伴い、認知症の方の増加も見込まれており、認知症対策は重要な課題と考えています。このため、医療、介護の専門職や民生委員を含めた関係団体の代表からなる「認知症対策地域連携推進会議」を開催し、認知症の正しい知識の普及・啓発や認知症の人を支援する人材育成、支援体制の充実など認知症対策の総合的な推進を図るための検討協議を行っています。</p> <p>この度いただいた提言につきましても、当会議に紹介し、検討いただきながら認知症の人が安心して暮らせるまちづくりに向け、平成30年度からの次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に向けた検討を進めていきます。</p>	



# 「基本チェックリスト」で 今の心身の状態を 確認しませんか



「基本チェックリスト」は、自分では気づきにくい心身の衰えをより早く把握して、介護予防など健康づくりに生かすためのものです。

もし、気になる兆候や心配なことがあったら、地域包括支援センターにぜひご相談ください。

新潟市



やさしさつなぎ、広がる笑顔、新潟市

発行／新潟市福祉部地域包括ケア推進課

発行日／平成28年12月

# 基本チェックリスト

あなたの現在の状態について、「はい」「いいえ」の当てはまる方にチェックをいれてください。

基本チェックリスト		実施 年 月 日		回 答		
生活機能 全般	①	バスや電車で1人で外出していますか (1人で自家用車を運転して外出する場合も「はい」となります)	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	②	日用品の買い物をしていますか	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	③	預貯金の出し入れをしていますか	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	④	友人の家を訪ねていますか	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	⑤	家族や友人の相談にのっていますか (電話で相談に応じている場合も「はい」となります)	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
運動器の 機能	⑥	階段を手すりや壁をつたわずにのぼっていますか	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	⑦	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	⑧	15分位続けて歩いていますか (屋内、屋外などの場所は問いません)	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	⑨	この1年間に転んだことがありますか	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	⑩	転倒に対する不安は大きいですか	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
栄養状態	⑪	6ヶ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	⑫	BMIが18.5未満ですか (BMIの求め方は一番下をご覧ください)	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
口腔機能	⑬	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	⑭	お茶や汁物などでむせることがありますか	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	⑮	口の渇きが気になりますか	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
閉じこもりの 傾向	⑯	週に1回以上は外出していますか (過去1ヶ月の状態の平均)	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	⑰	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
認知機能	⑱	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	⑲	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	⑳	今日が何月何日かわからない時がありますか (月と日がどちらかしか分からない場合には「はい」となります)	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
こころの 健康状態	㉑	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	㉒	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	㉓	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じられる	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	㉔	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
	㉕	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ

BMIの求め方 / BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)

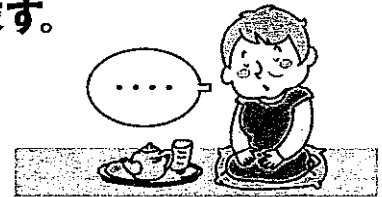
(例) 体重50kg、身長160cmの人の場合: BMI = 50 ÷ 1.6 ÷ 1.6 = 19.5

該当する項目(ピンク色の枠のチェック)が多いなど  
気になる兆候があったら、早めに生活を見直しましょう!

チェックリスト番号 ① ~ ②①

●生活機能全般をチェックします。

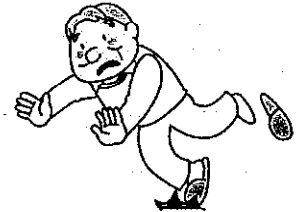
生活が不活発になると、心身がより早く衰える危険があります。運動や食事などを見直してみましょう。



チェックリスト番号 ⑥ ~ ①①

●運動器の機能をチェックします。

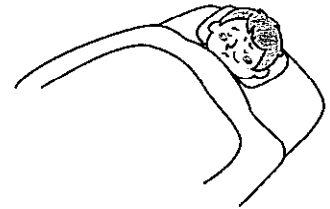
足腰が衰えると、生活全般が不活発になったり、転倒などから寝たきりを招く危険があります。ひざの屈伸などで足腰を鍛えましょう。



チェックリスト番号 ①① ~ ①②

●栄養状態をチェックします。

栄養が不足すると、筋力が衰えたり、抵抗力が弱まり病気になりやすくなります。肉や魚、大豆食品などを積極的に食べましょう。



チェックリスト番号 ①③ ~ ①⑤

●口腔機能をチェックします。

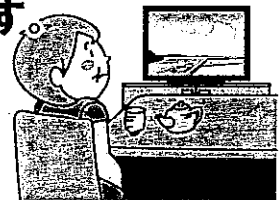
食べたり飲み込んだりしにくくなると、低栄養状態や肺炎などになる危険があります。口腔ケアでお口の老化を予防しましょう。



チェックリスト番号 ①⑥ ~ ①⑦

●閉じこもりの傾向をチェックします。

家に閉じこもっていると心身の活動が不活発になるため、全身の衰弱や認知機能の低下、うつなどを招くおそれがあります。こまめに出かける習慣を身につけましょう。



チェックリスト番号 ①⑧ ~ ②①

●認知機能をチェックします。

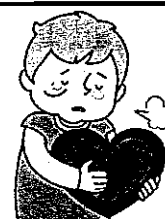
早期に診断し、治療・予防をすることにより、認知症の進行を遅らせることができます。「おかしいな?」と思ったら早めに受診し、診断を受けることが大切です。



チェックリスト番号 ②① ~ ②⑤

●こころの健康状態をチェックします。

うつ病になると生活が不活発になって心身の衰弱を招きやすくなります。長く続く心の落ち込みは、早めに専門医などに相談することが大切です。



※「生活機能」とは、人が生きていくための機能全体をいいます。

地域包括支援センターは高齢者に関する総合相談窓口です。  
何でもご相談ください。

## 地域包括支援センター

センター名	区	住所	電話番号	担当地域 (中学校区) 【日常生活圏域】
阿賀北	北区	松潟1482番地1	025 (258) 1212	松浜・南浜・濁川
くすつか		東栄町1丁目1番35号	025 (386) 8100	葛塚・木崎・早通
上土地亀		上土地亀2433番地1	025 (386) 1150	岡方・光晴
山の下	東区	河渡本町2番35号	025 (290) 7155	山の下・藤見・下山
木戸・大形		上木戸5丁目2番1号	025 (272) 3552	東新潟 (木戸小)・大形・木戸
石山		中野山4丁目16番13号	025 (277) 0077	石山・東石山
関屋・白新	中央区	関屋大川前1丁目2番36号	025 (231) 5659	関屋・白新
ふなえ		入船町3丁目3629番地1	025 (229) 3600	寄居・新潟柳都 (旧二葉・旧舟栄)
宮浦東新潟		鏡1丁目5番16号	025 (240) 6111	宮浦・東新潟 (沼垂小・笹口小)
姥ヶ山		神道寺1丁目10番6号	025 (240) 6077	鳥屋野・上山・山潟
大江山・横越	江南区	丸山ノ内善之丞組352番地3	025 (278) 7860	大江山・横越
かめだ		早通6丁目7番34号	025 (383) 1780	亀田・亀田西
曾野木両川		鍋潟新田382番地	025 (280) 3636	曾野木・両川
にいつ日宝町	秋葉区	日宝町5番25号	0250 (22) 1931	新津第五
新津		荻野町3番8号	0250 (25) 3081	新津第一・新津第二
こすど		小須戸120番地5	0250 (61) 1855	小合・金津・小須戸
しろね北	南区	高井東2丁目2番30号	025 (362) 1750	臼井・白根北
しろね南		上下諏訪木817番地1	025 (373) 6770	白南・白根第一
あじかた		西白根44番地	025 (372) 5121	味方・月潟
小新・小針	西区	小針3丁目34番5号	025 (201) 1351	小針・小新
坂井輪		新通4734番地	025 (269) 1611	坂井輪・五十嵐
黒埼		鳥原3255番地1	025 (377) 1522	黒埼
赤塚		赤塚4782番地	025 (264) 3377	内野・赤塚・中野小屋
西川	西蒲区	旗屋701番地2	0256 (88) 3122	西川
中之口・潟東		福島313番地1	025 (375) 8833	潟東・中之口
巻		巻甲1569番地7	0256 (73) 6780	巻東・巻西
岩室		橋本97番地1	0256 (82) 5501	岩室

◎太線内についてお書きください。

実施日 4 平成 年 月 日

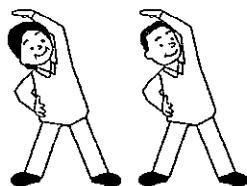
被 保 険 者	被保険者番号	□□□□□□□□□□					
	フリガナ	-----					
	氏名	生年月日	明・大・昭・平	年	月	日	
	住所	〒	電話番号				

No.	質問項目	回答 (いずれかにしをお付けください)	
1	バスや電車で1人で外出していますか (1人で家用車を運転して外出する場合も「はい」となります)	<input type="checkbox"/> 0. はい	<input type="checkbox"/> 1. いいえ
2	日用品の買い物をしていますか	<input type="checkbox"/> 0. はい	<input type="checkbox"/> 1. いいえ
3	預貯金の出し入れをしていますか	<input type="checkbox"/> 0. はい	<input type="checkbox"/> 1. いいえ
4	友人の家を訪ねていますか	<input type="checkbox"/> 0. はい	<input type="checkbox"/> 1. いいえ
5	家族や友人の相談にのっていますか (電話で相談に応じている場合も「はい」となります)	<input type="checkbox"/> 0. はい	<input type="checkbox"/> 1. いいえ
6	階段を手すりや壁をつたわずにのぼっていますか	<input type="checkbox"/> 0. はい	<input type="checkbox"/> 1. いいえ
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	<input type="checkbox"/> 0. はい	<input type="checkbox"/> 1. いいえ
8	15分位続けて歩いていますか (屋内、屋外などの場所は問いません)	<input type="checkbox"/> 0. はい	<input type="checkbox"/> 1. いいえ
9	この1年間に転んだことがありますか	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 0. いいえ
10	転倒に対する不安は大きいですか	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 0. いいえ
11	6ヶ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 0. いいえ
12	身長 □□□ cm 体重 □□□ kg	※市記入欄 BMI=( )18.5未満で該当 ※BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)	
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 0. いいえ
14	お茶や汁物などでむせることがありますか	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 0. いいえ
15	口の渇きが気になりますか	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 0. いいえ
16	週に1回以上は外出していますか (過去1ヶ月の状態の平均)	<input type="checkbox"/> 0. はい	<input type="checkbox"/> 1. いいえ
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 0. いいえ
18	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 0. いいえ
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	<input type="checkbox"/> 0. はい	<input type="checkbox"/> 1. いいえ
20	今日が何月何日かわからない時がありますか (月と日がどちらかしか分からない場合には「はい」となります)	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 0. いいえ
21	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 0. いいえ
22	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 0. いいえ
23	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じられる	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 0. いいえ
24	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 0. いいえ
25	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	<input type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 0. いいえ

- ・基本チェックリストの判定・介護予防ケアマネジメントを実施するために、地域包括支援センター・居宅介護支援事業者が被保険者台帳・受給者台帳を閲覧することに同意します。
- ・基本チェックリストの結果を地域包括支援センター・居宅介護支援事業者・その他事業の実施に必要な範囲で関係する者へ情報提供することに同意します。

本人氏名 (自署)

# 幸齢ますます元気教室のご案内



体の体操や講座のほかに、お口の体操や講座、栄養について楽しく学べる教室です。  
ぜひ、参加してみてください！！

\* 教室の実施は、市が委託した事業者が行います。

目的	① 元気で動ける身体を維持し、自立した生活を送れるようにします。 ② 介護を要する状態となることを予防します。
対象	65歳以上の方で、基本チェックリストの結果「幸齢ますます元気教室」への参加が望ましく、医師による運動制限のない方
内容	① 集団での体操やレクリエーション <b>体・お口の体操</b> ② ミニ講座 <b>運動、お口の健康、栄養についてなど</b> ③ 必要に応じて、運動方法や日常生活の指導
期間	4～6月、7～9月、10月～12月、1月～3月の各3か月間 週1回、1回の時間は1時間30～50分位、3か月間に12回実施
会場・日時	裏面参照
送迎	自力で通所できない方で、家族などによる送迎が困難な場合は、事業者による送迎サービスをご利用いただけます。
定員	各会場 10～15名程度
費用	舌ブラシ等の個人的教材費については、実費相当額の負担があります。
持ち物 服装	飲み物(水分補給)、タオル、めがね、動きやすい服装や履物でおいでください
問い合わせ先	新潟市地域包括支援センター ○○○ ☎○○○○○-○○-○○○○



# 楽しく脳力アップ塾

28年度

## 参加者募集中！

### お元気なシニアの「脳の健康教室」

① 書誌を記入してください。記入欄には必ずお名前を  
書きましよう。

岩手県は、北海道につぐ広さがあり  
ます。小岩井農場は、自然がゆたかに  
広がります。明治二十四年、小野、岩崎  
井上の三氏が共同で拓  
き、それぞれの頭文字を  
名前にしたそうです。

・小野、岩崎、井上が拓いた農場

旅行記

月 日 時 分 秒

名前

毎日「楽習」できる教材  
「読み書き」と「計算」の教材の2種類  
各々5か月単位の教材が用意されています。  
「すうじ盤」の記録更新にもチャレンジ！

#### 「脳の健康教室」はこんな教室です

- 週に1回の教室でボランティアや学習仲間との「学習と会話」を楽しみます。
- 教室のない日も毎日10分程度でできる脳トレーニング教材をお渡しします。
- 独自に開発された「脳トレーニング」教材を使用します。
- 「人前で発表」したり「難問であぶら汗…」という心配はまったくご無用！ストレスを感じることはありません。

東北大学・川島隆太教授の  
脳科学研究から生まれた  
脳の健康維持法。

(とき) 平成28年7月13日(水)～12月7日(水)  
毎週1回、5か月間、計20回 裏面参照  
初回は学習者説明会を行います。教室は7月20日よりはじめます。  
ご希望の時間帯がある場合は、申し込み時にお知らせください。

	時刻	一般申し込み
①	13時30分～14時15分	8人程度
②	14時15分～15時00分	8人程度
③	15時00分～15時45分	8人程度

(対象) 平成29年3月31日時点で65歳以上の人  
できるだけ継続して教室に参加できる人(初参加の中央区民が優先です)

(ところ) 中央地域保健福祉センター 1階 講堂 (中央区関屋下川原町1-3-11)  
できるだけ公共交通機関でお越しください。

(参加費) 5か月分として3,500円を、一括納入となります。

(申込み) 詳しい申し込み方法と申し込み開始日は、6月5日の区役所たよりに掲載しますので、  
確認の上申し込みください。

問い合わせ先	新潟市中央区役所健康福祉課健康増進係	☎025-223-7246
--------	--------------------	---------------

## 教室等日程予定 H28年

日時	備考	その他
H28年 7月13日 (水)	学習者説明会, 参加者顔合わせ, 評価	
7月20日 (水)	学習会 第1回	
7月27日 (水)	学習会 第2回	
8月3日 (水)	学習会 第3回	
8月10日 (水)	学習会 第4回	
8月17日 (水)	学習会 第5回	
8月24日 (水)	学習会 第6回	
8月31日 (水)	学習会 第7回	
9月7日 (水)	学習会 第8回	
9月14日 (水)	学習会 第9回	交流会
9月20日 (火)	学習会 第10回	火曜日
9月28日 (水)	学習会 第11回	
10月5日 (水)	学習会 第12回	
10月12日 (水)	学習会 第13回	
10月19日 (水)	学習会 第14回	
10月26日 (水)	学習会 第15回	
11月2日 (水)	学習会 第16回	
11月7日 (月)	学習会 第17回	月曜日
11月16日 (水)	評価 第18回	
11月21日 (月)	学習会 第19回	月曜日
11月30日 (水)	学習会 第20回	
12月7日 (水)	修了式	

※教室のない日も毎日10分程度でできる脳トレーニング教材をお渡しします。



認知症カフェ【H29.1現在】

区	名称	場所	出張所 特養白養荘	地域包括支援センター 0256-88-3122	開催期間	開催場所
①西蒲区	認知症カフェかくだ山 西川			地域包括支援センター西川 0256-88-3122	毎月第3土曜日 13時半～15時半 1回200円	平成26年6月
	認知症カフェかくだ山 巻			地域包括支援センター巻 0256-73-6780	毎月第3金曜日 13時半～15時半 1回200円	
②南区	より道カフェ かけ橋		白根健康福祉センター	地域包括支援センターあじかた 025-372-5121	毎月第4土曜日 13時半～15時半 1回200円	平成27年10月
③中央区	認知症カフェ喫茶くりの木		特養くりの木 GHこもれび 小規模多機能マロニエ	特養くりの木	奇数月第3週のいずれか 1回100円	平成27年9月
④中央区	はあとふるあたごカフェ		はあとふるあたごデイサービスセンター 柳都大橋2階	デイサービスセンター柳都大橋 025-228-5010	不定期第2日曜日 10時～12時 時間内出入自由 1回200円	平成27年11月
⑤中央区	カフェみどりの森		緑樹苑1階	NPO法人みどりの森 080-7773-7940	毎週火、水、木曜日 10時～12時 1回200円	平成27年4月
⑥西区 (個人)	支えあいサロン 松美台		個人宅	コミュニケーションサポート「わんみみ」 025-230-3147	毎週木曜日 10時～16時 1回300円 ・弁当持参可 ・昼食350円(希望者12時～13時の間) ・時間内は出入自由	平成28年5月
	オレンジキッチン (認知症の方と家族の方がそば打ち体験や会食を楽しむつどいの場)		同上	同上	毎月第3土曜日 11時～15時 1000円(予約制)	平成28年5月
⑦西区	支えあいサロン 松美台内 (お庭カフェと小さなマルシェ)		同上	同上	毎週木曜日 14時～16時	平成28年5月
	カフェさかい		はあとふるあたごデイサービスセンター 坂井東	デイサービスセンター坂井東 025-268-8880	不定期日曜日 10時～12時 無料	平成28年4月
⑧秋葉区	はあとふるあたごグループホーム新津		はあとふるあたごGH新津	はあとふるあたごGH新津 0250-21-8888	偶数月第4土曜日 13時半～15時 1回200円予約制	平成27年10月

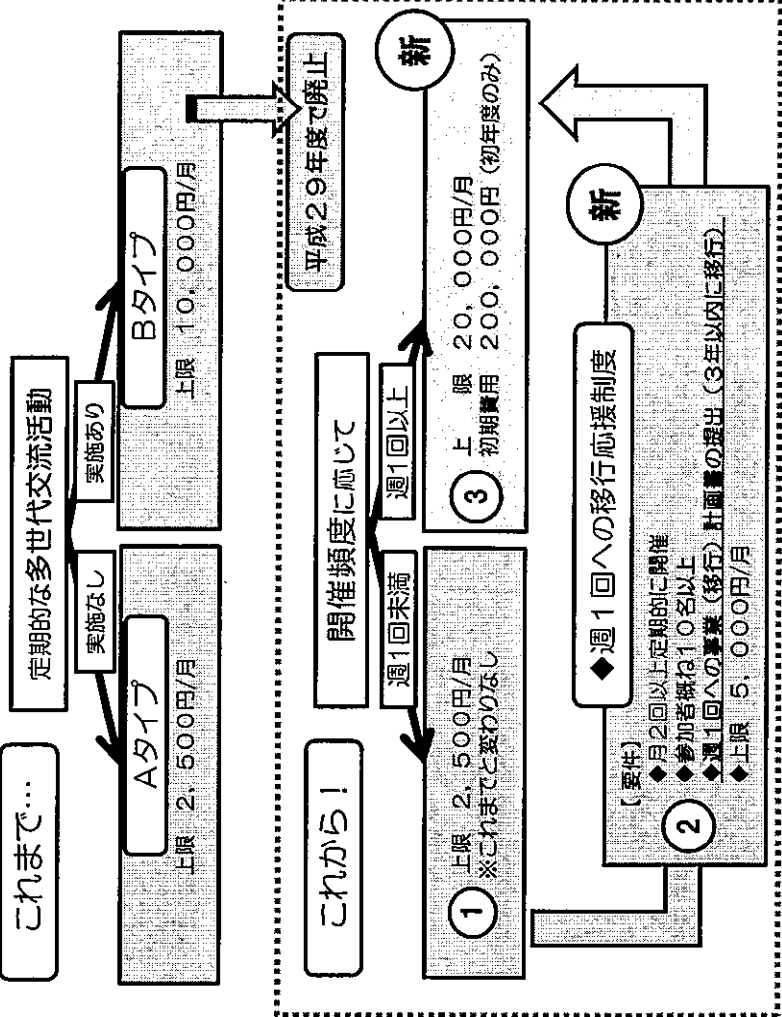
平成29年度より

# 「地域の茶の間」の助成を見直します！

## 1. なぜ見直したの？

地域のみなさまによる「地域の茶の間」は、新潟市内で約500箇所となりました。「地域の茶の間」を通じ、自然と新たな人と人とのつながりや隣近所同士の助け合いの気持ちは生まれてきていることと思えます。この素晴らしい取り組みがより広がるよう、開催頻度に応じた制度に見直しを行い、みなさまの運営を支援します。

## 2. どう変わるの？ (金額は"案")



## 3. 要件と対象となる経費は？

事業名	地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン助成事業		地域の茶の間の支援事業
	①月1回	②月2回以上	
開催頻度	①月1回	②月2回以上	③週1回以上
<b>申請要件</b>			
参加人数	概ね10名以上		高齢者が概ね10名以上
参加対象	子どもや高齢者、障がい者等、対象者を限定せずじだれでも自由に参加可能		
その他	事業(移行)計画書の提出 ※助成は3年以内		
<b>運営経費(案)</b>			
月額上限	2,500円	5,000円	20,000円
講師謝礼	○		○
消耗品	○		○
印刷代	○		○
光熱水費	○		○
ボランティア保険	○		○
通信費	○		○
会場費・家賃	○		○
お茶・茶菓子・食材料費等	○		×
<b>初期費用(案)</b>			
初年度のみ(1回限り)			200,000円
消耗品費			○
印刷代			○
備品購入費			○
不動産の修繕・改築			×



# 認知症になっても 安心して暮らす まちづくり

15

行方不明や事故を防ぎましょう

認知症の人が戸外に出たまま行方不明や事故にあうケースが増え、深刻な社会問題になっています。

しかし、認知症の人は目的もなく歩いているのではなく、その人なりの目的や理由があるため、家の外に出ること自体を問題視するのは不適切です。

認知症の人の行方不明や事故は、家族や介護者だけで防ぐことはできません。認知症の人が戸外に出ても安全に戻れるように、まちぐるみで普段から見守り声かけをするしくみが必要です。

## 声をかける判断ポイント

不自然さ

危険

困っている

- 雨の日に傘もささずに歩いている
- 声をかけてもわき目もふらず、一目散に歩いている
- 険しい表情やボーッとした表情で歩いている
- 寒いのに薄着あるいは暑いのに厚着をしている
- 裸足だったり、はきものが左右違う
- 信号を無視したり車道を歩いている
- バス停や公園のイスに長時間座りつづけている



## ちょっと気になる人に出会ったら

- **やさしく声をかけてみる。**「こんにちは」「暑いですね」などごく普通のあいさつから。「どちらまで?」「どうかしましたか?」とゆっくりとおだやかに声をかける。
- **名前や住所をたずねてみる。** ことえられなくても、衣服の裏や靴などに連絡先が書いてある場合もあるので、さりげなく確認してみましょう。無理強い禁物です。
- **心配なときは警察に連絡を。** 体調が悪そうな時は救急車に連絡を。自分ひとりで対応できない時は、まわりの人に助けをもとめましょう。

## 認知症の人が戸外に出ても安全に家にもどるために家族ができること

本人に連絡先がわかるものを身につけてもらいましょう  
(衣服や靴、お守り、ペンダントなどへの氏名や電話番号を記入する)

本人がよく立ち寄る場所や散歩コースを知っておきましょう

ご近所やよく立ち寄るお店の方に、認知症であることをお知らせし、見つけたら連絡をもらうようお願いしておきましょう

本人が家を出たことを気づくように工夫しましょう  
(ドアに鈴をつける。ドアが開くとチャイムが鳴るグッズを取り付ける)

行方不明になったら、早めに警察に連絡を入れ  
捜索のお願いをしましょう

GPS端末機の貸出しを活用しましょう  
(市町村によって異なります)

# 認知症に関する問合せ・相談先

認知症になっても安心して暮らすためのサポートとして様々な相談窓口があります。自分だけ、家族だけで悩みを抱えず、心配なことや困ったことがあったら、まず相談を！

## 地域包括支援センター

認知症のことだけでなく、高齢者に関する幅広い相談にのります。お住まいの地域包括支援センターの所在地を知りたい場合は、市区町村にお電話ください。

## 市区町村の高齢福祉担当窓口

医療機関や福祉サービス、地域包括支援センターなどを紹介しています。

## 新潟県高齢者総合相談センター

ヨイロウコ  
電話 025-285-4165

高齢者やその家族が抱える様々な問題に対応する「よろず相談」や専門家による認知症、法律、不動産の鑑定・利活用の「専門相談」を行います。

## 認知症疾患医療センター

認知症の医療やケア等について、専門家が相談にのります。新潟県内に8か所あります  
(平成27年3月末現在)

- ✳ 黒川病院 ✳ 三島病院 ✳ 柏崎厚生病院
- ✳ 高田西城病院 ✳ ゆきぐに大和病院
- ✳ 総合リハビリテーションセンター・みどり病院
- ✳ 白根緑ヶ丘病院 ✳ 川瀬神経内科クリニック

## (公社)認知症の人と家族の会

電話 0120-294-456 月～金10～15時 無料



## 認知症の行方不明の方をお探しの方は

### はいかいシルバーSOSネットワークシステムをご利用ください

お問い合わせは：各警察署生活安全課まで

県内の各警察署単位（一部はブロック運用）で、認知症の人が行方不明になった時に、年齢、服装、体格などの情報をお聞きし、給油所やタクシー会社、コンビニ、市町村などにファックスを送信し早期発見・保護につなげるしくみがあります。



医療と介護をつなぐヘルスケアSNS

# Net4U

「Net4U」は、地域内の病院、診療所、訪問看護ステーション、調剤薬局、介護事業所等が患者の情報を共有することができる、地域包括ケアに対応したヘルスケア SNS です。

施設や職種を問わず、患者に関わるすべての医療者・介護者がフラットに情報を共有し、コミュニケーションを可能することで、顔の見える地域包括ケアをサポートしています。

患者さんが指定した  
医療・介護施設でのみ  
診療情報を共有します。

病院



居宅介護支援  
事業所



## Net4U

共有される診療・ケア情報は、  
情報の安全性を確保するため  
高度に暗号化されており、個人  
情報が漏れることはありません。

訪問看護  
ステーション



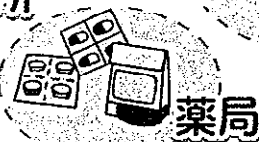
介護サービス  
事業所



歯科診療所



診療所



薬局

### 個人情報保護対策について

#### ①情報の暗号化

個人情報保護のため、高度な暗号化処理をします。

#### ②端末の特定

閲覧が可能な認証ソフトが導入された端末以外では、ネットワークに接続することができません。

#### ③医療従事者の責務

医療従事者が守秘義務に違反した場合、罰則が科せられます。

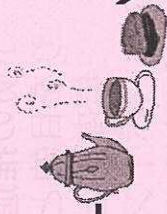
# 新潟市からのお知らせ



H29.1月作成

認知症サポーター養成講座を受講してください、あいがとうございました。  
今日からあなたも認知症の人や家族を温かく見守る応援者の一員！

新潟市内では様々な取り組みが行われています。学んだ事を活かしてみませんか？



## 認知症カフェ

認知症カフェとは、「認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場」です。開催場所等に関しては、お問い合わせください。

【お問い合わせ先：電話番号】

新潟市地域包括ケア推進課 025-226-1281

## 認知症の人と家族の会「つどい」

介護家族の方が自分の心の底にある苦悩を打ちあけて、心から安らぐことのできる居場所です。

介護の悩み相談、情報交換、温泉旅行などで参加者の交流を図っています。

サポーターの皆さんも参加して交流してみませんか？

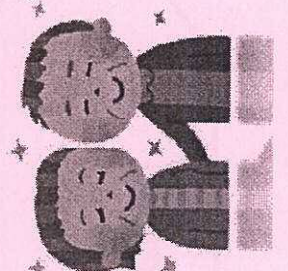
【開催日時】原則月1回 第2土曜日 (8月は第3土曜日)  
午後1時30分～4時

【会場】新潟市総合福祉会館 (中央区八千代1-3-1)

【参加費】300円 (お菓子代)

【お問い合わせ先：電話番号】

(下越エリア担当) 等々力氏 025-269-2282



## 地域の茶の間

助け合い支え合う地域づくりを進めるために、地域の皆さんが集まりやすい場所を利用して、定期的に子どもから高齢者、障がいのある人など誰もが気軽に交流する場です。

※お近くの区社会福祉協議会にお問い合わせください。

【お問い合わせ先：電話番号】

～各区社会福祉協議会～

- ・北区 025-386-2778 ・秋葉区 0250-24-8376
- ・東区 025-272-7721 ・南区 025-373-3223
- ・中央区 025-210-8720 ・西区 025-211-1630
- ・江南区 025-250-7743 ・西蒲区 0256-73-3356

## 65歳以上の方の社会参加活動！ にいがたし元気力アップ・サポーター

市内の65歳以上の方が、介護施設などで  
のサポート活動を通じて、高齢者自身の介護  
予防の推進と、いきいきとした地域社会づく  
りを目的としています。

年度ごとに活動実績をポイントとして評価  
し、ポイントに応じて、交付金を受け取る事  
ができます。

### 【対象者】

新潟市内に住所を有する65歳以上の方

### 【活動場所】

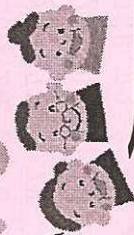
特別養護老人ホーム、老人保健施設、グ  
ループホーム、デイサービス、保育園、障が  
い者支援施設など

### 【活動内容】

お茶出しや食堂内の配膳・下膳の補助、レ  
クリエーション指導・補助、施設行事の手伝  
い・芸能披露、話し相手など

### 【お問い合わせ先：電話番号】

新潟市地域包括ケア推進課  
025-226-1281  
新潟市社会福祉協議会  
025-243-4370



## ボランティア・市民活動

市内では多くのボランティア・市民活動が、活発に行われ  
ています。ボランティア活動に関心がある・参加してみたい  
い・手伝ってほしい人たちの相談窓口として、すべての区に  
様々な情報を集めている「ボランティア・市民活動センター」  
があります。

### お近くの区社会福祉協議会

「ボランティア・市民活動センター」へご連絡ください。

### 【お問い合わせ先：電話番号】

#### ～各区ボランティア・市民活動センター～

- ・北区 025-386-2810
- ・東区 025-272-7731
- ・中央区(古町) 025-210-8730
- ・中央区(万代) 025-243-4379
- ・江南区 025-250-7743
- ・秋葉区 0250-24-8376
- ・南区 025-373-3223
- ・西区 025-211-1630
- ・西蒲区 0256-73-3565





## 小・中学生向け「認知症サポーター養成講座」のご案内

認知症は、誰にでもなる可能性のある病気です。85歳以上では、4人に1人にその症状があるとされています。現在、全国で認知症の人は約210万人、30年後には400万人程度にまでなると予想されています。新潟市では、認知症について正しく理解し、認知症の人やご家族を見守り支援していくまちづくりに取り組んでいます。

みなさんで、認知症に関する知識を高め、認知症の方と、その家族が安心して暮らしていける地域づくりを考えてみませんか。

この事業は、今後さらに増加すると予想される認知症高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりのために、次代を担う小・中学生に認知症の正しい理解を身に付けていただくことを目的としています。

ぜひ総合学習のお時間等でご活用いただきますようお願いいたします。

- 1 対象 新潟市内全小・中学校
- 2 実施方法 新潟市キャラバン・メイト（研修を受けた講師）をご希望される小・中学校に派遣します。
- 3 内容 認知症の正しい理解、認知症高齢者への正しい接し方等を学んでいただき、受講された皆さんに「オレンジリング」を配布します。



### ●認知症サポーターとは

「認知症サポーター養成講座」を受けた人が「認知症サポーター」です。

とくに認知症サポーターにはなにかを特別にやってもらうものではありません。認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらいます。そのうえで、自分のできる範囲で活動できればいいのです。たとえば、友人や家族にその知識を伝える、認知症になった人や家族の気持ちを理解するよう努める、隣人あるいは商店・交通機関等、まちで働く人として、できる範囲で手助けをする、など活動内容は人それぞれです。

（出典：地域政策ケアネットワークホームページより）

### ●ロバ隊長ステッカー・ぬいぐるみ交付について

認知症サポーター講座を受講していただいた学校を対象に、認知症サポーターの存在をお知らせするロバ隊長ステッカー・ぬいぐるみを交付します。交付手続きについては、新潟市ホームページ（検索：認知症サポーターになりませんか）をご覧ください。

交付申請書の提出先は各区健康福祉課高齢介護係です。



### 【サポーター養成講座開催に関するお問い合わせ先：TEL】

北区健康福祉課	025-387-1325	江南区健康福祉課	025-382-4383
東区健康福祉課	025-250-2320	秋葉区健康福祉課	0250-25-5679
中央区健康福祉課	025-223-7216	南区健康福祉課	025-372-6320
西区健康福祉課	025-264-7330	西蒲区健康福祉課	0256-72-8362



# 小・中学生向け「認知症サポーター養成講座」

## お問い合わせ票

(該当する方に○をお付けください)

小・中 学校

ご担当者

ご連絡先

### 1 ご希望日時・学年

第1希望 月 日 第 限

第2希望 月 日 第 限

第3希望 月 日 第 限

対象学年 年生



### 2 特記事項(メイト(講師役)の指定等があれば下記にその旨お書きください)

- \* まずは、各区健康福祉課高齢介護係にFAXにてお問い合わせください。  
(実施希望日30日前までにお問い合わせ下さい。)
- \* お申込みにあたっては、別途申請書をご提出いただきます。

☆認知症サポーター養成講座については、小学生福祉読本(P. 19)、中学生福祉読本(P. 20)にも記載しています。

#### 【各区健康福祉課高齢介護係：FAX】

北区健康福祉課	025-387-1020	江南区健康福祉課	025-381-1203
東区健康福祉課	025-273-0177	秋葉区健康福祉課	0250-22-8250
中央区健康福祉課	025-223-7151	南区健康福祉課	025-372-4033
西区健康福祉課	025-269-1670	西蒲区健康福祉課	0256-72-3133

送付先 健康福祉課高齢介護係



## 医療と介護の

# おきがる座談会



住み慣れた地域ですっと暮らし続けるために、今やっておくべきことは？  
「医療・介護のサービスってどんなものがあるの？」「在宅医療ってなに？」  
「在宅医療はどうすれば受けられるの？」・・・そんな疑問に、地元の医師や  
病院の医療相談員、訪問看護師などの専門職がお答えします。  
「かかりつけ医」をもつことなど、安心な生活につながるヒントを盛り込んだお話を  
地域の集まり（地域の茶の間・サロン・自治会等）で**お気軽**に学んでみませんか。  
地域の医療や介護の専門職が講師として伺います。

- 対象者** 地域の団体やグループ（地域の茶の間、自治会など）
- 会場** 申し込まれた団体が活動する会場で行います
- 時間** 原則として平日（月曜日から金曜日）の午後1時から午後5時までの間で  
おおむね45分間です
- 費用** 無料です

### ●申し込み方法と開催までの流れ

- ①開催希望日のおおむね3か月前までに、別紙の  
申込書にご記入のうえFAX・郵便または電話にて  
「新潟市在宅医療・介護連携センター（下記）」  
にお申し込みください。
- ②開催日時や内容など打ち合わせるため、  
申し込まれた方へ担当者が連絡いたします。
- ③当日、ご指定の会場へ講師・担当者がお伺いします。



お申し込み・お問い合わせ

### 新潟市在宅医療・介護連携センター

〒950-0914 新潟市中央区紫竹山 3-3-11 （新潟市総合保健医療センター5階）

電話 025-240-4135 FAX 025-247-8856

Eメール [renkei-center@med.email.ne.jp](mailto:renkei-center@med.email.ne.jp)

在宅医療・介護連携センター 行  
FAX 025-247-8856

申込日 平成 年 月 日

在宅医療市民出前講座 「医療と介護の <b>おきがる</b> 座談会」申込書	
申込者氏名 (団体名)	団体名：  ご担当者：
連絡先電話番号	
希望日時	平成 年 月 日 ( ) ： ～ ： (原則として平日(月～金)の午後1時から午後5時までの間で、 おおむね45分間です) (※記入例 14:00～14:45)
会場	会場名： 住所：新潟市 区
希望内容・テーマ	
参加人数	人(予定)
会場設備	・ビデオ・DVD・マイク・黒板(白板)・演台 ・プロジェクター・スクリーン・延長コード
講座形式	・教室型(机・椅子)                      ・畳(座机) ・その他(                                      )
駐車場の有無	・有(約 台分)                              ・無

- ・お申し込みは、FAX・郵送のほか窓口でも受け付けます。
- ・この申込書は、座談会実施以外の目的には使用いたしません。

お申し込み先  
〒950-0914 新潟市中央区紫竹山3丁目3番11号  
新潟市在宅医療・介護連携センター(新潟市総合保健医療センター5F)  
電話 025-240-4135(直通) FAX 025-247-8856

ぜひご利用ください!

[第二版]

# 認知症高齢者の自動車運転を考える 家族介護者のための 支援マニュアル<sup>®</sup>

認知症高齢者の安全と安心のために

自動車を運転する高齢者が認知症になったとき、運転者ご本人やそのご家族の中には、どのように対応してよいかかわからず、地域での生活に困難を抱えている方がおられます。

そこで、わたくしどもは、これまでの研究活動の成果をまとめ、「認知症高齢者の自動車運転を考える家族介護者のための支援マニュアル<sup>®</sup>」を作成致しました。皆様に、ご利用頂き、少しでもお役に立つことができれば幸いです。インターネットでの無料ダウンロードにより入手できるように致しましたので、ぜひとも、ご利用ください。

平成19-21年度厚生労働科学研究費補助金(認知症対策総合研究事業)

「認知症高齢者の自動車運転に対する社会支援のあり方に関する検討」

(H19-認知症-一般-025)研究班(研究代表者 荒井由美子)

平成27年度厚生労働科学研究費補助金(厚生労働科学特別研究事業)

「認知症高齢者の自動車運転を考える家族介護者のための支援マニュアル<sup>®</sup>を用いた  
家族への情報提供に関する研究」

(H27-特別-指定-022)研究班(主任研究者 荒井由美子)

## 事例紹介

## 第1章:認知症の正しい理解

## 第2章:認知症と運転

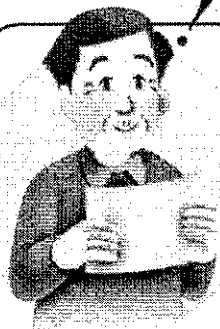
## 第3章:認知症高齢者の自動車の運転に関する法律

## 第4章:自動車運転に対する人々の意識

## 第5章:運転者が認知症になったとき

## フローチャート:認知症高齢者の自動車運転への対応、考え方

ダウンロード方法については裏面をご覧ください



## ダウンロード方法

「認知症高齢者の自動車運転を考える家族介護者のための支援マニュアル<sup>®</sup>」は、国立長寿医療研究センター 長寿政策科学研究部のホームページ (<http://www.ncgg.go.jp/department/dgp/index-dgp-j.htm>) から、無償でダウンロードをすることができます。(PDF:約4MB)

### ■ 本マニュアルの使用についての「お願い」

本マニュアルの営利目的による、無断での複製・転載・データベース等への取り込み、転送及び使用は禁じられております。本マニュアルの内容を引用する際には、必ず出典を明記して下さい。

なお、本マニュアルの掲載ページへの直リンクや、ダウンロードしたファイル(PDF)のアップロードによる公開は、研究の都合上、ご遠慮いただいております。

本マニュアルを、ご紹介下さる際には、以下を提示する形で、お願い致します。



PDFファイルをご覧いただくためには「Adobe Reader」のダウンロード(無料)が必要です。

「認知症高齢者の自動車運転を考える家族介護者のための支援マニュアル<sup>®</sup>」  
国立長寿医療研究センター 長寿政策科学研究部  
<http://www.ncgg.go.jp/department/dgp/index-dgp-j.htm>

### 活用方法

- 家族介護者の方々の手引きとして。
- 高齢者ケアに携わる方々の資料として。
- 高齢者福祉に携わる自治体職員の方々の資料として。
- 住民の方々への情報提供や支援ツールとして。
- 病院や地域包括支援センター、警察署等関係機関との情報共有を推進する資料として。



### 研究代表者紹介

荒井 由美子 (あらい ゆみこ) 医師、医学博士

東北大学医学部卒業後、慶應義塾大学医学部精神・神経科入局。英国エジンバラ大学大学院およびリーズ大学大学院修了後、ロンドン市バーネット地区保健局客員公衆衛生医、東北大学医学部公衆衛生学教室助手。その後、国立長寿医療センター看護介護心理研究室長。2005年より現職。

研究班(研究代表者: 荒井由美子)

平成19-21年度(3年間)

厚生労働科学研究費補助金(認知症対策総合研究事業)

「認知症高齢者の自動車運転に対する社会支援のあり方に関する検討(H19-認知症-一般-025)」

平成27年度厚生労働科学研究費補助金(厚生労働科学特別研究事業)

「認知症高齢者の自動車運転を考える家族介護者のための支援マニュアル<sup>®</sup>を用いた家族への情報提供に関する研究」

(H27-特別-指定-022)研究班(主任研究者 荒井由美子)

### 執筆者一覧

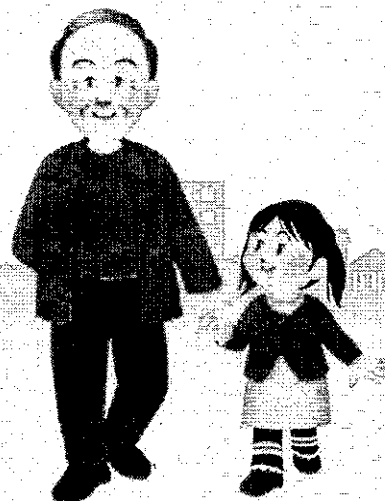
荒井 由美子 (あらい ゆみこ)  
国立長寿医療研究センター 長寿政策科学研究部 部長

池田 学 (いけだ まなぶ)  
熊本大学大学院 生命科学部 脳機能病態学分野(神経精神科) 教授

上村 直人 (かみむら なおと)  
高知大学 医学部 神経精神科学教室 講師

新井 明日奈 (あらい あすな)  
国立長寿医療研究センター 長寿政策科学研究部 外来研究員

水野 洋子 (みずの ようこ)  
国立長寿医療研究センター 長寿政策科学研究部 研究員



営利目的による、無断での複製・転載・データベース等への取り込み、転送及び使用は禁じられております。  
なお、本マニュアルの内容を引用する際には、必ず、出典を明記して下さい。